



診療科のご案内

大阪母子医療センター
新生児科



早産・低出生体重児、先天性疾患等、
さまざまなリスクを持つ新生児の診療をおこなっています。

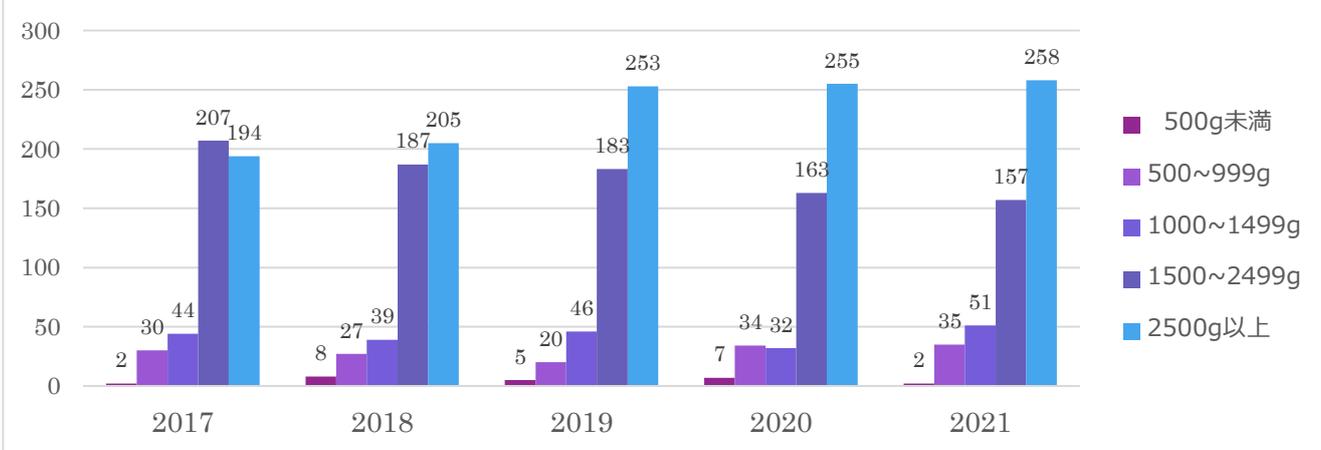


新生児科は、大阪府下の新生児医療相互援助システム NMCS (Neonatal Mutual Co-operative System) の基幹施設として、ハイリスク新生児の診療や緊急搬送を行っています。

現在、NICU21 床、GCU21 床で運用し、新生児搬送救急車を有し、24 時間対応で搬送依頼に対応しています。また、ハイリスク新生児の急性期集中治療のみならず、リスクの予想される出生前診断症例に対する

プレネイタルビジット、NICU を退院したハイリスク児の中長期のフォローアップや在宅医療の支援に力を入れています。

最近 5 年間 NICU 出生体重別入院数



主な対象疾患

- 1) 超低出生体重児などの早産・低出生体重児
- 2) 呼吸障害
- 3) 重症感染症、先天性感染症
- 4) 低酸素性虚血性脳症 (仮死)
- 5) 染色体疾患 (ダウン症、18 トリソミー、13 トリソミーなど)
- 6) 先天性疾患、(小児外科疾患、循環器疾患等)
- 7) 多胎児
- 8) 先天代謝異常症など
- 10) 合併症を持つ母体から出生した児
- 11) その他

少子化が進行する中でも、当センターの NICU は非常に高い稼働率を維持しています。特に濃厚で持続的な治療を要する超低出生体重児 (出生体重 1000g 未満) は、大阪府全体の約 20% を受けいれています。





間葉系幹細胞治療の治験に参加

低酸素性虚血性脳症（いわゆる新生児仮死に続発します）に対して、唯一有効とされる治療法が低体温療法です。年間約5例の治療をおこなっています。当センターでは、最近注目されている間葉系幹細胞治療の治験に参加しました。更なる予後の向上が期待されています。

皆様へのお願い

- 緊急の治療が必要な新生児の搬送依頼のみならず、ちょっと気になる赤ちゃんのご相談もどうぞ遠慮なくご連絡ください。
 - 急性期治療を終え、状態の落ち着いた患者様には、お住まいの近くの地域周産期センター等への転院もご相談させていただいております。当センターのドクターカーで搬送いたしますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。
 - また、当センターNICUを退院した児のかかりつけ医、成長発達のフォロー、在宅医療や訪問診療もいつでもご依頼させていただいております。
- 今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



新生児科ホームページ

PICU ホットライン(24 時間受付直通)

☎ 0725-56-1070

重篤な小児患者さんを積極的に受け入れています

- ・小児の麻酔、看護に精通しています。
- ・チームでの医療を実践しています。
- ・家族の付き添いが必須ではありません。



遺伝子診断に関する研究に参加



NICUには、既存の検査を駆使しても診断のつかない疾患を持つ新生児が一定数おられます。当センターでは遺伝診療科と連携し、新生児集中治療室における精緻・迅速な遺伝子診断に関する研究に参加しています (<https://plaza.umin.ac.jp/npm/>)。網羅的遺伝子解析やオミックス解析により、早期に診断し有効な治療を行うことを目指しています。



泉北高速鉄道 光明池駅 徒歩 5 分

大阪母子医療センター

初診予約：患者支援センター 〒594-1101 和泉市室堂町 840 TEL0725-56-1220 (代表)

FAX 0725-56-5605 (24 時間受付：午後 7 時以降受領の FAX の回答は次の受付開始後です)



(2023 年 1 月発行)